

藤沢市教育委員会 10 月定例会会議録

日 時 2018 年（平成 30 年）10 月 17 日（水）
午後 3 時 30 分
場 所 本庁舎 3 階 3－3 会議室

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の決定
- 3 前回会議録の確認
- 4 議 題
 - (1) 議席の決定について
- 5 その他
 - (1) 平成 30 年 9 月藤沢市議会定例会の開催結果について
- 6 閉 会

出席委員

1 番 平 岩 多恵子
2 番 中 林 奈美子
3 番 大 津 邦 彦
4 番 飯 島 広 美
5 番 木 原 明 子

出席事務局職員

教育部長	村 上 孝 行	生涯学習部長	秋 山 曜
教育次長	神 原 勇 人	生涯学習部参事	須 田 泉
教育部参事	佐 藤 繁	学校給食課長	板 垣 朋 彦
教育指導課長	窪 島 義 浩	学校施設課長	山 口 秀 俊
教育総務課主幹	須 藤 和 久	学務保健課主幹	戸 田 隆 裕
生涯学習総務課	峯 千 鶴		
課長補佐			
書 記	鈴 木 憲二郎		

平岩教育長 ただいまから藤沢市教育委員会 10 月定例会を開会いたします。
平岩教育長 日程に入ります前に、小竹委員が 9 月 30 日で退任されたことに伴いま
して、10 月 1 日に新たに木原委員が就任されましたので、一言、就任の
ごあいさつをお願いいたします。
木原委員 このたび教育委員に任命されました木原明子と申します。内科の医師を
しておりますので、藤沢市の医師会に属しております。校医とか産業医の
経験を踏まえて、委員としてすべきことをしていきたいと思っております。
よろしくをお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 それでは、会議録署名委員を決定いたします。
本日の会議録に署名する委員は 3 番・中林委員、4 番・大津委員にお願
いしたいと思いますが、ご異議ありませんか。
(「異議なし」の声あり)

平岩教育長 それでは、本日の会議録に署名する委員は 3 番・中林委員、4 番・大津
委員をお願いいたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 続きまして、前回の会議録の確認をいたします。
何かありますか。
特にないようですので、このとおりの承することにご異議ありませんか。
(「異議なし」の声あり)

平岩教育長 それでは、このとおりの承することといたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 これより議事に入ります。
議題 (1) 議席の決定についてを上程いたします。
本議題につきましては、10 月 1 日付で新たに木原委員が任命されたこと
に伴いまして、議席の決定を行うものでございますが、議席の決定につ
きましては、教育長指名としたいと思いますが、いかがでしょうか。
(「異議なし」の声あり)

平岩教育長 それでは、議席の決定については教育長指名といたします。
それでは、指名をいたします。3 番・中林委員を 2 番へ、4 番・大津委員
を 3 番へ、5 番・飯島委員を 4 番へ変更し、新任の木原委員の議席を 5 番
と決定いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長 それでは、その他に入ります。
(1) 平成 30 年 9 月藤沢市議会定例会の開催結果について、教育部及び
生涯学習部の説明を求めます。

村上教育部長

それでは、平成 30 年 9 月藤沢市議会定例会の開催結果について、教育部に関わる部分を私から報告いたします。議案書の 2 ページをご覧ください。

9 月市議会定例会は、9 月 3 日から 10 月 10 日までの 38 日間で開催されました。8 月の教育委員会定例会でご審議の上ご決定いただきました、議案「工事請負契約の締結について」（六会中学校屋内運動場建設工事）については、9 月 5 日の本会議において可決されました。

続きまして、9 月 10 日に開催された子ども文教常任委員会について報告いたします。議案書の 4 ページをご覧ください。今回、教育部に係る案件は報告案件が 2 件ございました。報告案件につきましては、報告(4)「平成 31 年度使用藤沢市教科用図書の採択結果について」を報告いたしました。8 ページに資料がございますのでご覧ください。ここでは、1 採択する教科用図書、2 採択に係る経過、3 採択結果、4 採択方針、5 採択のために参考にした資料をご報告いたしました。

続きまして、報告(5)「学校給食費の改定について」を報告いたしました。31 ページに資料がございますのでご覧ください。ここでは、1 本市の学校給食の現状、2 主な食材費の推移、3 献立の変化、4 学校給食費の単価、5 これまでの検討経過、6 学校給食費についての考え方、7 改定額(素案)、8 今後の予定をご報告いたしました。

次に、資料はございませんが、補正予算常任委員会について報告いたします。8 月の教育委員会定例会でご審議の上ご決定いただきました、議案「平成 30 年度藤沢市一般会計補正予算」につきましては、新たに 3 校で中学校給食を実施することや小学校 8 校の普通教室等への空調設備を設置するための経費についての補正で、9 月 18 日の本会議において可決されました。

次に、一般質問についてでございますが、教育部に関連する質問は 8 人の議員からございました。質問の件名と要旨、主な質問について報告いたします。なお、後ほど生涯学習部からの報告がございますので、議員の順序が前後する場合がございますのでご了承ください。

はじめに、ふじさわ湘風会の堺 英明議員でございます。件名 1「地域福祉の向上について」、要旨 1「湘南大庭地区の課題と各種まちづくりについて」では、湘南大庭地区の小・中学生の地域行事等への参加や地域との関わりについてのご質問がありました。

次に、民主クラブの脇 礼子議員でございます。件名 1「男女で共に創ろう豊かなまち「ふじさわ」について」、要旨 1「性の尊重と暴力の根絶について」では、未成年へのレイプ・強制わいせつ、性非行に走る子どもをなくすための性教育の重要性についてのご質問がありました。

次に、市民クラブ藤沢の山口政哉議員でございます。件名1「安全・安心のまちづくりについて」の要旨1「危険ブロック塀について」では、学校敷地内及び通学路のブロック塀等の調査状況とその後の対応についてご質問がありました。

次に、市民クラブ藤沢の北橋節男議員でございます。件名1「地域における学校支援について」の要旨1「人材育成と子供支援について」では、三者連携事業についての課題と今後の対応、についてご質問がありました。

次に、藤沢市公明党の阿部すみえ議員でございます。件名1「子どもたちの未来を守るまち・ふじさわについて」要旨1「院内学級からの復学支援について」では、入院中、または自宅療養中の児童生徒に対する復学支援や若手教員の育成・支援についてご質問がありました。

次に、藤沢市公明党の平川和美議員でございます。件名1「健康への取り組みについて」の要旨2「暑さ対策について」では、学校で行っている熱中症予防・暑さ対策についてのご質問がありました。

次に、市民クラブ藤沢の西 智議員でございます。件名1「子供達の防犯・防災対策について」の要旨1「「登下校防犯プラン」を踏まえた藤沢市の取り組みについて」では、登下校時の児童生徒の安全対策、とりわけ防犯笛の活用についてのご質問がありました。

次に、要旨2「防災対策について」では、学校における地震対策、とりわけ児童用ヘルメットの導入についてのご質問がありました。

次に、市民クラブ藤沢の原田伴子議員でございます。件名1「藤沢の未来を変えるいくつかのヒントについて」の要旨1「未来につなげる子どもの生きる希望や権利について」では、子どもの貧困についてのアンケート調査結果を学校がどのように生かすのか、及び不登校児童生徒の居場所についての課題や必要性のご質問がありました。教育部に関わる部分についての報告は以上でございます。

秋山生涯学習部長 それでは、平成30年9月藤沢市議会定例会の開催結果について、生涯学習部に関わる部分を私からご報告いたします。9月10日に開催された、子ども文教常任委員会について報告いたします。議案書の4ページにお戻りください。生涯学習部に関係する案件は、報告案件が1件ございました。報告案件につきましては、報告(3)「南市民図書館等の暫定移設について」を報告いたしました。5ページに資料がございますのでご覧ください。ここでは、1 南市民図書館の暫定移設についてとして、(1)南市民図書館暫定移設に至った要因、(2)暫定移設先の選定条件、(3)暫定移設先の検討結果、(4)今後の対応、(5)現南市民図書館の利活用。

2 市民ギャラリーの暫定移設として、(1) 暫定移設に至るまでの経過、(2) 暫定移設先の検討結果、(3) 今後の対応。

3 今後のスケジュール(予定)について報告いたしました。

議案書の38ページをご覧ください。一般質問についてでございますが、生涯学習部に関連する質問は2名の議員からございました。質問の件名と要旨、主な質問について報告いたします。

民主クラブの清水竜太郎議員でございます。件名2「文化・観光行政について」の要旨1「新しい文化・観光の創造について」では、デジタルアートの一つであるプロジェクションマッピングに対する市の考え方についてご質問がありました。

次に、ふじさわ湘風会の吉田淳基議員でございます。件名1「市長の政治姿勢について」の要旨1「最先端技術の活用について」では、VRなどといった映像に関する最先端技術を、オリンピックに向けての気運醸成や、生涯学習施設において活用することについてのご質問がありました。生涯学習部に関わる部分についての報告は、以上でございます。

神原教育次長

それでは、決算特別委員会について報告を行います。決算特別委員会につきましては、9月27日に設置されて、平成29年度の一般会計他9特別会計の認定について付託され、9月28日から10月5日までの間、審査が行われました。しかしながらこの間、決算に係る不適切な会計処理が判明したため、慎重に審査する必要があるという理由により、閉会中の継続審査となりました。したがって、決算特別委員会の最終報告につきましては、改めてご報告申し上げます。以上で、平成30年9月藤沢市議会定例会の開催結果についての報告といたします。

平岩教育長

説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

特にないようですので、報告を終了いたします。

÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷÷

平岩教育長

以上で、本日、予定しておりました審議する案件はすべて終了いたしました。

委員の方で、前回の定例会から本日までの間で、報告事項のある方はいらっしゃいますか。

中林委員

研修会に参加させていただきましたので、その報告をいたします。1つ目は、10月10日、神奈川県市町村教育委員会連合会研修が厚木市で行われました。こちらでは最近、盛んに言われていますコミュニティスクールについてが主なところございました。厚木市では今年6月に、市内36校すべてに制度が導入完了したこともあり、文部科学省のコミュニティマ

イスターの大谷裕美子氏をお迎えして講話を伺ってきました。大谷氏は、大阪市内の小学校1、中学校1の地域でコミュニティスクール推進に7年前より携わっていて、さまざまなご苦勞のお話をいただきました。当初は、学校に頼まれて、頼まれたことだけを行っていたが、都合よい使い方をしていると地域は離れてしまうなどというところから、地域の方との関係をいかにつくり上げるか、関わっている方々に主体を持って、学校と一緒に考え、活動してもらうことがWIN・WINの関係づくりには大切であると熱く語っていらっしゃいました。

2つ目は、今週の15～16日に山形市で開催されました日本を2つのブロックに分けての全国市町村教育委員会研究協議会です。基調講演では、中教審のメンバーでもある那須正裕上智大学教授より「地域の未来と学習指導要領」と題して、子どもたちに身につけてほしい「先の見えない時代を生きていく力」について、大変興味深い講話を聞くことができました。

1つ、簡単な例を挙げますと、アメリカで1970年代に実施されたマッシュマロテストというのがありまして、当時、アメリカではマッシュマロは子どもたちの大好きなおやつだったということで、それを4歳児の子どもの目の前にマッシュマロを1つ置いて、15分待てたら2つあげるよということ伝えて、その子どもを1人にした結果、15分待つことができたのは3分の1だった。その後、待つことができた子どもたちを成人後に追跡調査をしたところ、社会適応がスムーズで、待つことができなかった子どもたちに比べると、日本の大学センター試験みたいなものがあるらしいのですが、2,300点満点中10%、200点以上の差が見られたという報告がありました。待つことができた子どもたちから聞き取ってみると、「時計を眺めてマッシュマロから目をそらす」とか「2つ食べられることをドキドキしながら待っていた」などと、思い思いに自分たちで考えて、自分を抑えることができていたということです。ここで、那須先生は、私たちに向かってダイエットや喫煙に触れて、自分を抑える、自制する力は世の中を生き抜く大きな力になるが、なかなかあなたたちもできないでしょうと投げかけられまして、私もこのとき大きくなついでしまったところがあります。大変お話の上手な方で、1時間があっという間に過ぎていきました。

2日目の分科会は、「学校家庭地域の連携協働の推進」ということで、コミュニティスクールの取り組みを発表されたところに参加してきました。山形県遊佐町、岩手県八幡平市の事例は、どちらも既に県全体で別の形で地域活動を導入していて、盛んな活動があつて、特に問題がなかったというところに、文部科学省からコミュニティスクール導入という話が出て、その話を教育委員会にしたときに、学校も地域も「なぜいまさら」と

か「負担が増えるだけ」などといった否定的な意見があったところから始まったそうです。しかし、導入することで仕組みを見直し、見える化し、課題を整理し体制を整え、複雑に個別に関わっていた組織や重なり合っていた活動を整理再編して、学校に要求するだけでなく、互いにできることを調整し合って、何より子どもたちのためにと活動され、それぞれの学校でわかりやすい組織をつくろうとすることが読み取れました。まだまだ発展途上とのことでしたので、大阪のケース同様、町の児童生徒が少なく、自治体の存続にも影響している、町全体で考える良い機会になっていることも見えてきました。過疎化が進み、将来的にはどちらの地域も学校数を統合して、数を整えていかなければいけないということを見据えた上で活動しておりまして、「自分たちの街をこうしたい、子どもたちをこう育てたい、子どもたちに成長して、また帰ってきてもらえるようなまちづくり」を皆さんで考え、いわゆるやらされ感ではなく、主体的に行動していることが伝わってきました。地域全体を巻き込んで、地域の方の生きがいや発表の場にもなっているということも聞いて、大変素晴らしい活動だと思いました。

藤沢としてどのように取り組んでいけるのか、簡単ではないと思いましたが、良いところを工夫して、子どもたちのために、私たち地域のために WIN・WIN の関係づくりができればいいと感じました。大変有意義な会議に参加させていただきまして、ありがとうございました。

平岩教育長

中林委員には暑い日に県の研修会、また山形での研究協議会にご出席いただきまして、ありがとうございました。また、報告内容についても、藤沢市ではまだ導入していないコミュニティスクールについて、参考にさせていただけたらと思っております。

それでは、ただいまの報告につきまして、ご質問等ありましたらお願いいたします。

特にないようですので、次回の会議の期日を決めたいと思います。11月14日（水）午後3時から、傍聴者の定員20名、場所は本庁舎3階 3-3会議室において開催することでいかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

平岩教育長

それでは、次回の定例会は11月14日（水）午後3時から、傍聴者の定員20名、場所は本庁舎3階 3-3会議室で開催いたします。

以上で、本日の審議の日程はすべて終了いたしました。これにて閉会いたします。

午後3時51分 閉会